

科目責任者 菱沼 滋(薬効学研究室)

■ 教育目的

薬理学Ⅰ・Ⅱで学んだ神経系・免疫系・オタコイド関連薬を基盤として、各種疾患に対する治療薬に関して臓器・組織毎に総合的に俯瞰するとともに、最新の治療薬の作用機序と有効性・安全性に関してより広く深い知識へと発展させる。マルチメディアを活用した学習システムを導入し、さらに、課題などを通じ自ら能力を高める意識を醸成することによって、薬理学の応用力を身に付け、薬の専門家としての資質の基盤を形成する。

【卒業認定・学位授与の方針：YD-①②③、SD-②③】

■ 学習到達目標

1. 薬物の作用機序及び個々の薬物の特徴が理解できる。(知識)
2. 治療薬の変遷及び新規承認薬の新規性が理解できる。(知識)
3. 薬理学的能力を研究・開発及び臨床に応用できる。(知識、技能、態度)

■ 準備学習（予習・復習）

予習：テキストの該当部分に予め目を通しておく(20分以上)。

復習：テキスト、参考書、関連問題(薬剤師国家試験・定期試験)等を活用し、知識を整理する(30分以上)。

■ 授業形態

講義

■ 授業内容

下記の項目に関して、テキストをスクリーンに提示しつつ、薬物の作用機序、薬物名、個々の薬物の特徴などを説明する。

No.	項目	授業内容	SBOコード
1	泌尿器系に作用する薬	利尿薬	E2(3)-③-1
2	//	排尿障害・頻尿治療薬	E2(3)-③-4
3	循環器系に作用する薬	心不全治療薬	E2(3)-①-2
4	//	抗不整脈薬、虚血性心疾患治療薬	E2(3)-①-1・3
5	//	末梢血管拡張薬	E2(3)-①-5
6	//	高血圧・低血圧治療薬	E2(3)-①-4
7	呼吸器系に作用する薬	呼吸興奮薬、鎮咳・去痰薬	E2(4)-①-4
8	//	気管支喘息治療薬	E2(4)-①-1・2
9	消化器系に作用する薬	健胃消化薬、消化性潰瘍治療薬	E2(4)-②-1
10	//	胃腸機能改善薬、鎮痙薬、催吐・制吐薬	E2(4)-②-2・6・8
11	//	瀉下・止瀉薬、肝・胆・膵臓機能改善薬	E2(4)-②-3～5・7
12	生殖器系に作用する薬	子宮収縮・弛緩薬、避妊薬	E2(3)-③-7
13	//	性功能不全治療薬	E2(3)-③-6
14	血液・造血器系に作用する薬	貧血治療薬	E2(3)-②-3
15	//	止血薬、血液凝固阻害薬、血栓溶解薬	E2(3)-②-1・2

■ 授業分担者

菱沼 滋(No.1～15)

■ 課題（レポート、試験等）のフィードバック及び成績評価方法

課題へのフィードバック：講義内容や関連問題等に関する質問を個別に受け付け、解説等により随時フィードバックを行う。
成績評価方法：学期末試験成績(100%)で評価する。

■ 教科書

『新図解表説 薬理学・薬物治療学(第2版)』菱沼 滋 著(テコム)

■ 参考書

『グッドマン・ギルマン薬理学(上・下)』高折 修二 他 監訳(廣川書店)

『NEW 薬理学』田中 千賀子 他 編著(南江堂)

『薬理学－医薬品の作用』竹内 幸一 他 編著(廣川書店)